

CentreCOM® LA100-PCM-T V2

取扱説明書・Windows®98 編

アライドテレシス(株)

この度は、「CentreCOM LA100-PCM-T V2」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を Windows98 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



この取扱説明書に記載の内容は、Windows98 の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版の Windows98 におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。



ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。本書の画面例は AT 互換機/PC98-NX のものです。PC-9800/PC-9821 の場合は、ディレクトリ名などが異なりますのでご注意ください。なお本書では、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM の各ドライブ名について、AT 互換機/PC98-NX ではそれぞれ「A:」「C:」「D:」、PC-9800/PC-9821 では「B:」「A:」「Q:」と仮定しています。

0 目次

1 概要	1
1.1 特長	1
1.2 対応コンピュータ機種	1
1.3 各部の名称と働き	1
1.4 ドライバーディスク	2
2 取付・配線	3
2.1 PC カードの挿入	3
2.2 PC カードの取り外し	3
2.3 メディアモジュールの取付け	3
2.4 メディアモジュールの取り外し	3
2.5 LAN への接続	4
3 Windows98 へのインストール	4
3.1 用意するもの	4
3.2 ドライバーの新規インストール	5
3.3 インストールの確認とアダプターの設定	6
3.4 ドライバーの更新	8
4 ドライバーのトラブル	9
4.1 本製品を認識しない	9
4.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く	10
4.3 Windows95 からのアップグレードの注意	10
4.4 PCMCIA コントローラが正しく表示されない	10
4.4 リソース値重複の回避	11

5 ネットワークのトラブル	11
5.1 LINK LED は点灯していますか?	11
5.2 LINK LED は点灯しているが...	11
5.3 本製品の詳細設定	12
A 付録	12
A.1 製品仕様	12
A.2 100/10BASE-T インターフェース	12
A.3 MAC アドレス	13
B 保証・ユーザーサポート	13

1 概要

1.1 特長

CentreCOM LA100-PCM-T V2(以下、本製品と表記)は以下の特長をもつ PC カード型 LAN アダプターです。

- PCMCIA Release 2.1 および JEIDA Ver.4.2 規格に対応
- データ転送は I/O 方式を採用
- I/O アドレス、インタラプトの設定が可能
- 10M bps(10BASE-T)/100M bps(100BASE-TX)の2つの速度に対応
- 動作状態表示 LED 付き接続メディアモジュールが付属 (RJ-45 型 10BASE-T/100BASE-TX 共用ジャックを提供)
- Auto-negotiation 機能を搭載
- 半2重および全2重通信に対応 (ただし、100Mbps の場合は半2重のみに対応)

1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PCMCIA Type II PC カードスロットを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ(ただし、PC-9801NX/C、PC-9801NL/R、PC-9801NS/A、PC-9821Ne、PC-98 互換機を除く)

1.3 各部の名称と働き

図 1.3.1 をもとに本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

LA100-PCM-T V2 本体

コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

メディアモジュール接続コネクタ

「メディアモジュール」を接続します。

本体接続コネクタ

LA100-PCM-T V2 本体に接続するコネクタです。

脱着ツメ

メディアモジュールの脱着を行うためのツメです。メディアモジュールの脱着は、必ずこのツメを持って行ってください。

フェライトコア

電磁妨害を防ぐための部品です。取り付けたままご使用ください。

メディアモジュール

LA100-PCM-T V2 を LAN に接続するためのケーブルです。

LED

次の 3 つの LED があります。

POWER/TX (緑): LA100-PCM-T V2 本体に電源がオンのときに点灯し、送信時に点滅します。

LINK/RX (緑): 対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、受信時に点滅します。

100M/FULL: 10Mbps・半 2 重のとき消灯、10Mbps・全 2 重のとき緑色に点灯、100Mbps・半 2 重のとき橙色に点灯します。

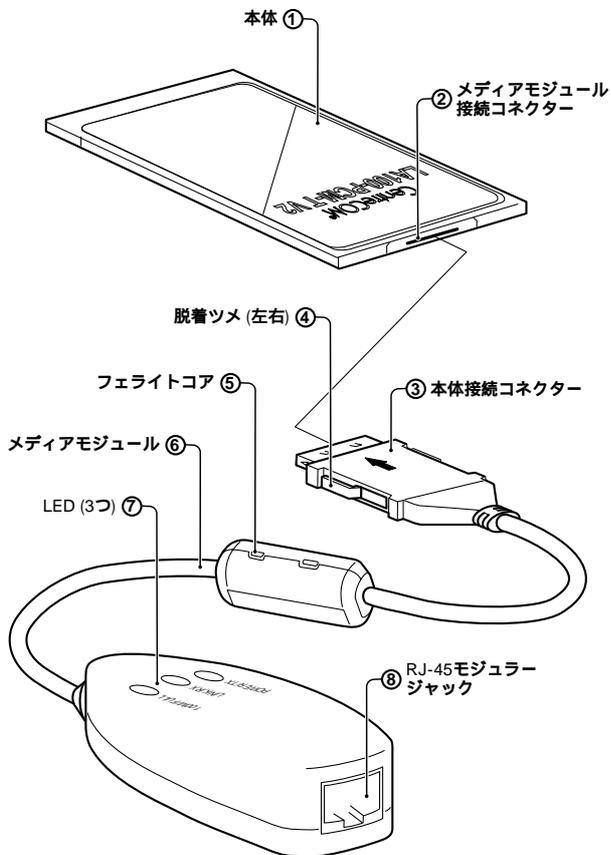


図 1.3.1

RJ-45 モジュージャック

UTPケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するコネクタです。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスについては、付録 A「MAC アドレス」をご覧ください。

警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記されています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください(残る 1 枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

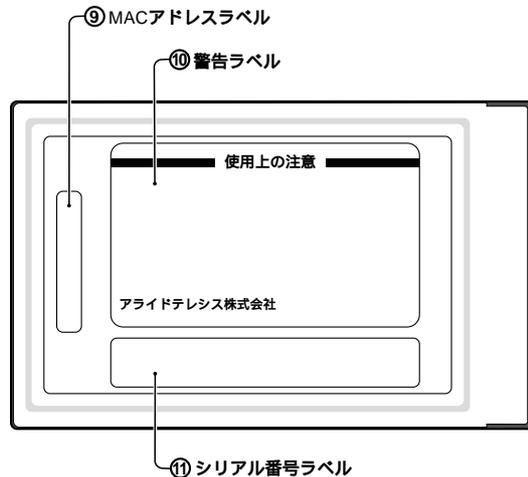


図 1.3.2

1.4 ドライバーディスク

本製品には、下記の 2 種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください(PC-98 互換機には対応していません)。

- AT 互換機 / NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800/PC-9821 用

Windows98 用ドライバーは、「¥windows.98」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。



¥README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わるものが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2 取付・配線

2.1 PC カードの挿入

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-PCM-T V2」の文字が印刷された面を上にしてコンピュータのPCカードスロットに挿入し、本製品をカチッと手応えがあるまで押し込んでください。



警告

コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows98はPlug & Play機能により本製品を検出します。
- (3) 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると「コントロールパネル」「PCカード(PCMCIA)」「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」の名前が表示されます。

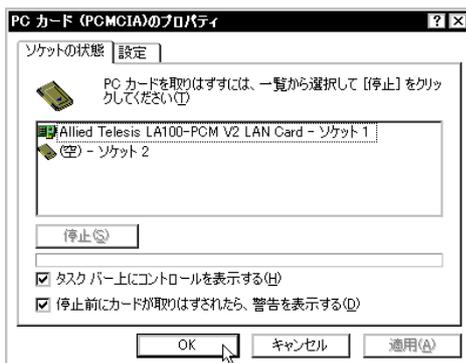


図 2.1.1 ソケットの状態



注意

初めて本製品を挿入したとき、すなわち本製品用のドライバーのインストールが行われていない場合、PCカードウィザードの起動、またはドライバーのインストールが開始されます。詳細は、後述の章をご覧ください。

2.2 PC カードの取り外し

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



警告

以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばTelnetやデータベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

- (2) タスクバーのPCカードアイコン(デスクトップ右下)をクリックします。



図 2.2.1 PC カードアイコン

- (3) 「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 2.2.2

- (4) 「OK」をクリックしてください。

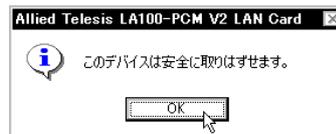


図 2.2.3

- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



警告

メディアモジュールを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアモジュールの故障の原因となります。

2.3 メディアモジュールの取付け

下図のように、矢印を上にし、コネクターの左右にある脱着ツメを押さえながら、LA100-PCM-T V2本体のコネクターに「カチッ」と音がするまで押しこんでください。押し込んだらメディアモジュールを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

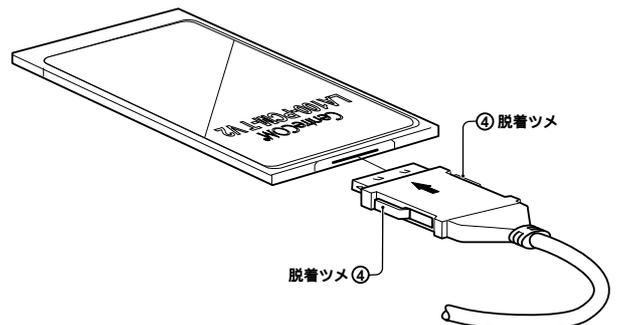


図 2.3.1

2.4 メディアモジュールの取り外し

メディアモジュールの脱着ツメを親指と人差し指で摘みながら引いてください。



警告

メディアモジュールに無理な力をかけて引き抜くことは、絶対におやめください。PCカード、メディアモジュール双方が破損する恐れがあります。

2.5 LAN への接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

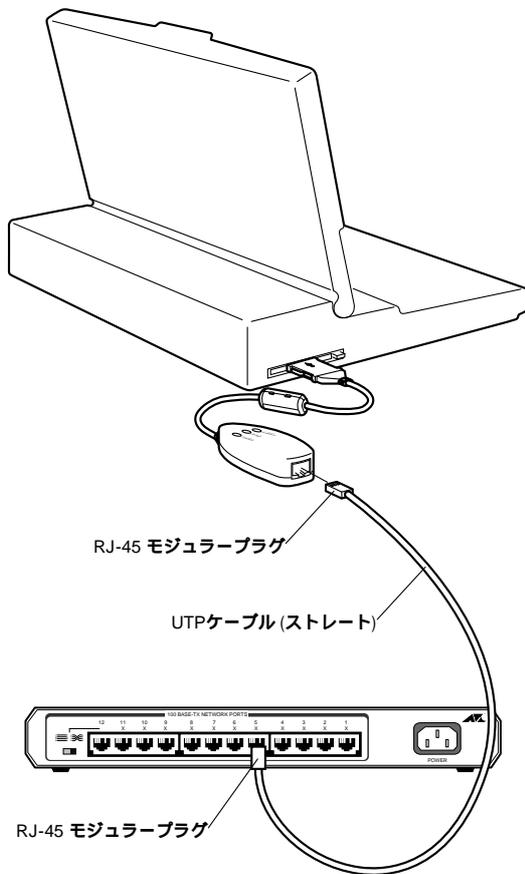


図 2.5.1

- (1) UTP ケーブルの一方の端に付いたプラグを、メディアモジュールのRJ-45モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。



UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、10BASE-Tの場合はカテゴリ-3以上、100BASE-TXの場合はカテゴリ-5のもので、ストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTPケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) UTPケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)のモジュラージャックに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。

UTP ケーブルの外し方

プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

3 Windows98 へのインストール

本製品のドライバーをWindows98にインストールする手順は、お客様の環境によって異なります。次の図を参考にして、正しい手

順でインストールを行ってください。

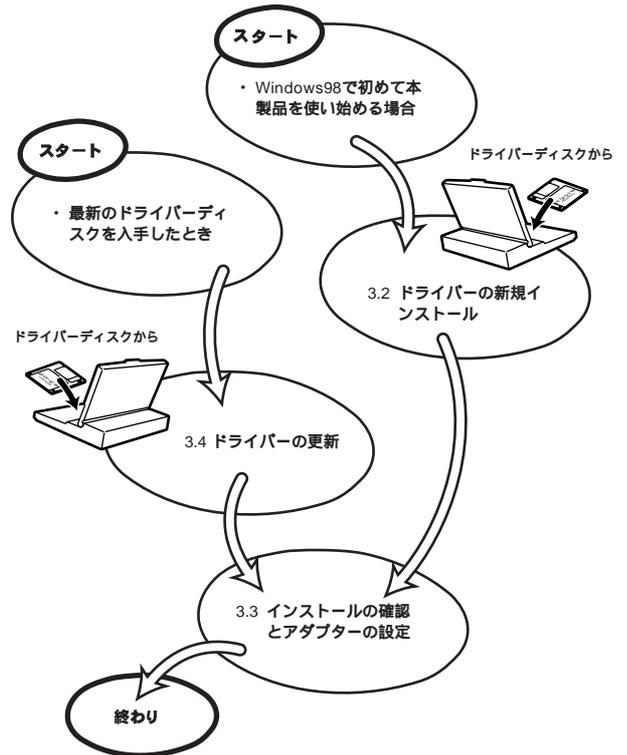


図 3.0.1

Windows98 で初めて本製品を使い始める場合(例えば、次に挙げるような場合)は、まず「3.2 本製品の新規インストール」を実行し、その後「3.3 インストールの確認とアダプターの設定」に進んでください。

- 新規インストールしたWindows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- プリインストール版Windows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、Windows95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める場合

すでにWindows95で本製品を使用している状態からWindows98にアップグレードした場合、「4.3 Windows95からのアップグレードのトラブル」をご覧ください。

3.1 用意するもの

- LA100-PCM-T V2 アダプター、メディアモジュールなど
- コンピュータ(PCカードスロット付き、Windows98インストール済み)
- ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98のCD-ROM



Windows98 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows98のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、付属のドライバーディスクからインストールされます。

- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98を起動してください。
- (2) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。
- (3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (4) Windows98によってPCカードの挿入が検知され、「新しいハードウェア」ダイアログに続いて、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ>」をクリックしてください。



図 3.2.1

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

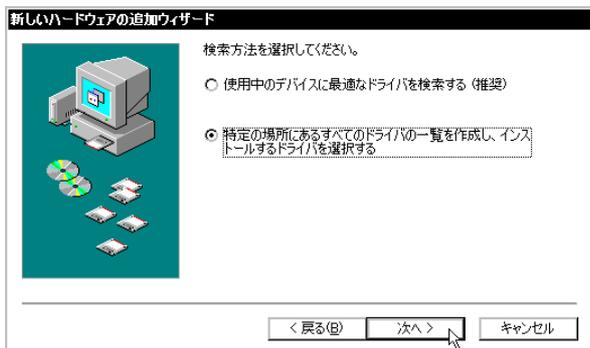


図 3.2.2

- (6) 次のダイアログが現れたら、スクロールバーで表示をスクロールさせ、一覧から「ネットワークアダプタ」を選択して、「次へ>」をクリックしてください。

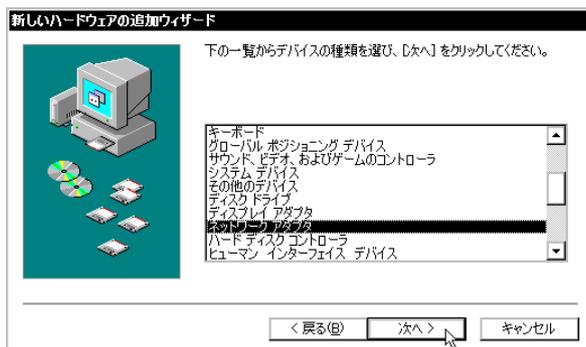


図 3.2.3

- 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックし、(7)に進んでください。



図 3.2.4

- (7) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」(PC-9800/PC-9821では「B:¥windows.98」)と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

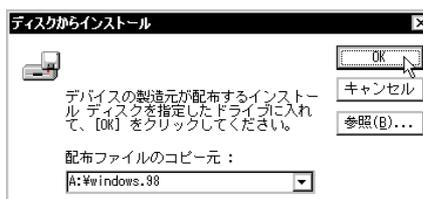


図 3.2.5

- (8) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.2.6

ダイアログが閉じ、図3.2.4の画面に戻りますが、図3.2.3が自動的に閉じ、次の図3.2.7になるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」(PC-9800/PC-9821では「B:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

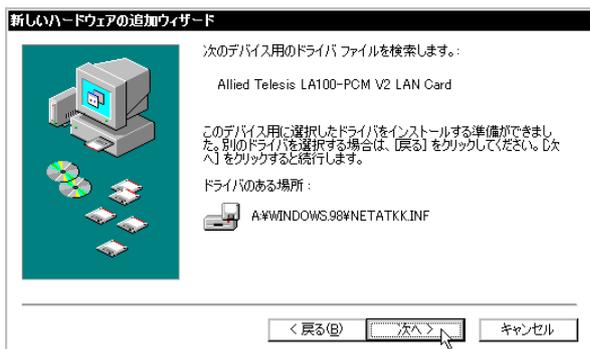


図 3.2.7

- (10) 次のような「lahpcmv2.sysが見つかりませんでした」というメッセージのダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」に「A:¥windows.98」(PC-9800/PC-9821では「B:¥windows.98」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。lahpcmv2.sysは本製品のドライバーであり、ドライバーディスクに含まれています。

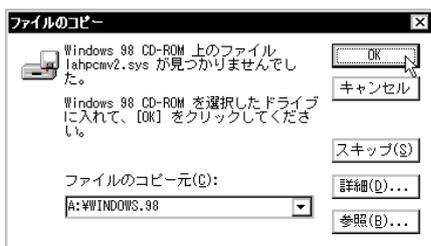


図 3.2.8

- (11) ドライバーディスクから本製品のドライバーがインストールされ、続いてネットワークを使用するために必要なWindows98のファイルが、Windows98のCD-ROMからハードディスクにコピーされます。

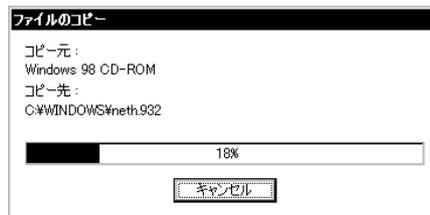


図 3.2.9

- (12) 「完了」をクリックしてください。



図 3.2.10

- (13) 次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

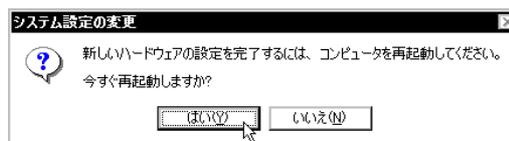


図 3.2.11

注意 新規インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

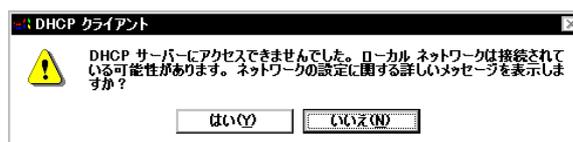


図 3.2.12

- (14) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

3.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 3.3.1

- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIAソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされている CardBus 対応 PCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」が表示されます。



図 3.3.2



PCMCIA コントローラの名称は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。また、CardBus コントローラは必ず同じ名称のものが2列以上表示されます。

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いたり、あるいはアイコンが「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3 ドライバのトラブル」をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.3.3 デバイスの状態

- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 3.3.4 リソースの確認

2. PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PCカード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」が表示されていることを確認します。

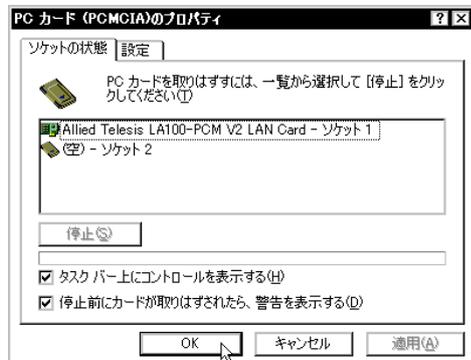


図 3.3.5 ソケットの状態

3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。下記の図3.3.6はあくまでも設定例です。設定に関する詳細は、Windows98のネットワークの設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。



図 3.3.6 ネットワークの設定

3.4 ドライバの更新

ドライバーの更新は、弊社のホームページ(<http://www.allied-telesis.co.jp/>)などから、本製品用の最新のドライバーを入手した場合に実行します。

- (1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」とたどり、その下に表示される「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 3.3.2 をご覧ください)。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.1

- (4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.2

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

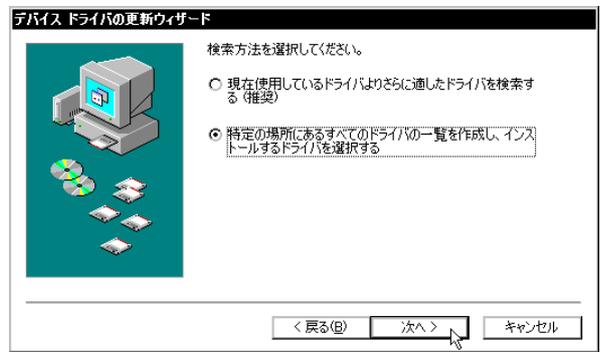


図 3.4.3

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「すべてのデバイスを表示」を選択し、「ディスク使用」ボタンをクリックします。



図 3.4.4

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」(PC-9821では「B:¥windows.98」)と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

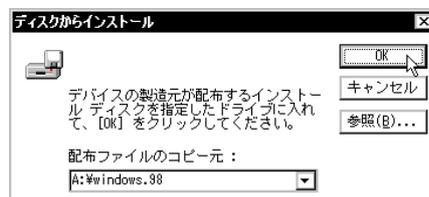


図 3.4.5

- (8) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、図3.4.4の画面に戻りますが、図3.4.4が自動的に閉じて、図3.4.7になるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)

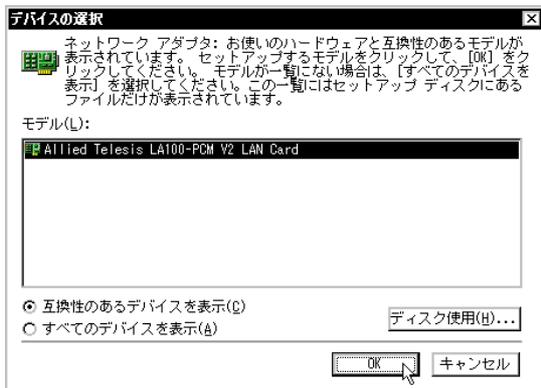


図 3.4.6

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」(PC-9821では「B:¥WINDOWS.98¥NETATKK.INF」)となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

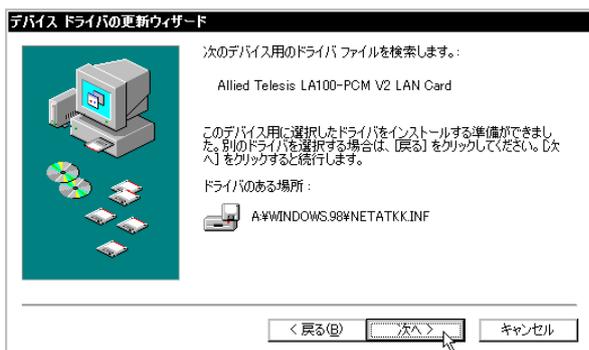


図 3.4.7

- (10) 次のようなダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」に「A:¥windows.98」(PC-9821では「B:¥windows.98」)と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

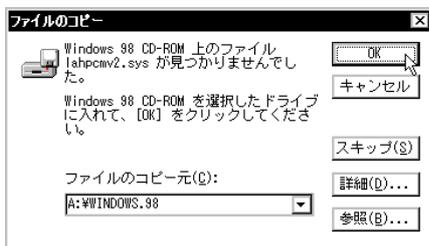


図 3.4.8

- (11) 本製品のドライバー以外のファイルがCD-ROMからコピーされます。

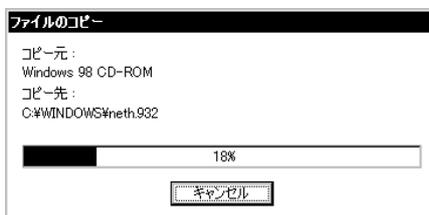


図 3.4.9

- (12) 「完了」をクリックしてください。



図 3.4.10

- (13) フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

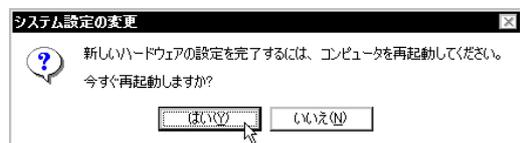


図 3.4.11

4 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

注意

4.1 本製品を認識しない

「3.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2 PC カードが検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- 5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く



「3」や「4」のような障害は、ドライバーインストール中に行為られる Windows98 関連ファイル(netapi.dll など)のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCM V2

LAN Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 4.1.1 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

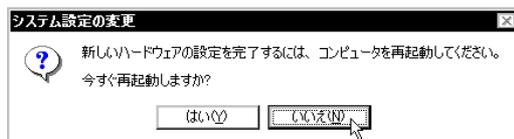


図 4.1.2

- (4) 「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



図 4.1.3 削除後のデバイスマネージャ

- (5) Windows98を終了し「スタート」「Windowsの終了」「電源を切れる状態にする」「OK」\コンピュータの電源をオフにします。
- (6) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。
- (7) 「4.2 ドライバの新規インストール」の手順を参考にし、本製品のドライバーをインストールします。



注意

一度でも本製品のドライバーのインストールを行うと、ドライバーに関する情報がコンピュータに保存されます。そのため、ドライバーの削除を行った後の「ドライバーの新規インストール」手順では、一部のダイアログが表示されないことがありますが、表示される指示にしたがって操作してください。

4.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャの「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」アイコンに「x」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA100-PCM V2 LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 3.3.1 ~ 3.3.3 参照)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

4.3 Windows95からのアップグレードの注意

本製品のドライバーがインストールされたWindows95をWindows98にアップグレードすると、本製品のドライバーはそのままご使用になれますが、「コントロールパネル」「ネットワーク」でTCP/IPなどの情報が正しく継承されているかどうかをご確認ください。

4.4 PCMCIAコントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIAコントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告

ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIAコントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後(下記参照)以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows98のシステムリソースレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」とどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



注意

CardBus対応のコンピュータ機種には、使用するPCカードに応じて2種類(16bit/32bit)のPCMCIAコントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認いただくか、PCメーカーにお問い合わせください。

「3.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIAソケット」の下に表示されるPCMCIAコントローラのアイコンに「?」「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。

- (2) 「PCMCIAソケット」をダブルクリックし、その下に表示されるPCMCIA コントローラを選択して、「削除」をクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品をPCカードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ>」をクリックしてください(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります)。
- (8) 「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

4.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98に予め登録「予約」と呼びます)し、その値が他のPlug & Play対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

5.1 LINK LED は点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブに電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など)他のケーブルに交換して試験してみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。次の「5.3 本製品の詳細設定」を参考にして、対向機器に合った速度を選択してください。

5.2 LINK LED は点灯しているが...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか? ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか? 10BASE-TXでは「カテゴリ-5」、10BASE-Tで「カテゴリ-3」以上のUTPケーブルを使用しなければなりません。
- UTPケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など)他のケーブルに交換して試験してみてください。

5.3 本製品の詳細設定

本製品のポート(RJ-45モジュージャック)は、「AutoSense」に設定されており、接続機器との通信速度(10/100Mbps)やモード(Full/Half duplex)は、本製品のAuto-negotiation機能によって自動的に設定されます。しかしながら、Auto-negotiationをサポートしていない機器に接続した場合、Auto-negotiation機能が正しく働かないため、ご使用になりたい状況に合わせて以下のように設定してください。

「コントロールパネル」「ネットワーク」「LA100-PCM V2」とたどり、「プロパティ」をクリックしてください。本製品の設定ダイアログが表示されます。「詳細設定」タブの「プロパティ」で「Connection Type」を選択し、「値」から適切な項目を選択してください。



図 5.3.1

- AutoSense(デフォルト)
Auto-negotiationを有効に設定します。この項目を選択した場合、対向装置がAuto-negotiationをサポートしていれば、可能な最高の速度およびモードとなります。しかしながら、対向装置がAuto-negotiationをサポートしていない場合、通信速度のみを検出し、検出された速度のHalf duplexモードとなります。
- 100BaseTx
100MbpsのHalf duplex(半二重)モードに設定します。
- 10BaseT
10MbpsのHalf duplex(半二重)に設定します。
- 10BaseT Full Duplex
10MbpsのFull duplex(全二重)に設定します。

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様
カード規格：
PCMCIA Release 2.1/JEIDA Ver. 4.2
信号：
IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX、IEEE802.3u Auto-negotiation
2. 機械的仕様
外形：
カード：85.6 × 54.0 × 5.0 mm(Type II PC Card)
メディアモジュール：220 × 26 × 21 mm
重量：
カード：30 g
メディアモジュール：25 g
3. 電気的仕様
動作電圧：DC + 5V ± 5%
消費電流：400 mA (max)
消費電力：2.0 W (max)
発熱量：1.66 Kcal/h (max)

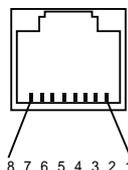
4. 環境条件
動作保証温度：0 ~ 55 注1
保存温度：-20 ~ 80
動作・保存湿度：95%以下(ただし、結露なきこと)

注1 本製品(PCカード)の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではありません。

6. 電気雑音の発生防止
雑音端子電圧：VCCIクラスB
雑音電界強度：VCCIクラスB
7. ネットワーク機能
転送速度：10M/100M bps
I/O アドレス：
Windows98により自動設定される(連続した32バイトを占有)
インタラプト：
3, 4, 5, 6, 7, 9, 10(A), 11(B), 12(C),15(F)

A.2 100/10BASE-T インターフェース

本製品に付属のメディアモジュールは、RJ-45型と呼ばれるモジュージャックを使用しています。図A.2.1に、100/10BASE-Tモジュージャックの信号線を図示します。



図A.2.1 RJ-45モジュージャック

- (1) TX+ 送信データ(+)
- (2) TX- 送信データ(-)
- (3) RX+ 受信データ(+)
- (4) --- 未使用
- (5) --- 未使用
- (6) RX- 受信データ(-)
- (7) --- 未使用
- (8) --- 未使用

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレス^{注2}と呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。

MACアドレスは、下記の6バイト(48ビット)によって構成されており、本アダプターの内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品裏面に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

00	00	F4	9x	xx	xx
ベンダー ID			通し番号		

- **ベンダー ID**
LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号。
- **通し番号**
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、LA100-PCM-T V2は、96から始まる6桁の数値となっています。この通し番号と本製品裏面の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

注2 MACアドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

B 保証・ユーザーサポート

ユーザーサポートをお受けになる場合は、「調査依頼書」に必要事項をご記入いただき、Windows98のシステムレポートを添付して、弊社サポートセンターにファクスしてくださいようお願い申し上げます。保証、ユーザーサポート、調査依頼書、最新ドライバの入手方法の詳細は、別紙「取扱説明書・Windows95編」をご覧ください。



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。
Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1998年7月14日 Rev.A 初版

メモ

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分などに素手で触れないでください。



取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所
(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所
(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は温度 0 ~ 55 °C、湿度最大 95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。



異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータの PC カードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。



日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。



お子様の手の届かないところに保管してください



高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高温を発生するようになります。ご使用直後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。



運搬時の注意

本製品をコンピュータの PC カードスロットに装着したままにコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。



濡れたカードは使用しない

カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。